

不登校対策支援プラン

プランの策定にあたって

更新日 4 月 1 日

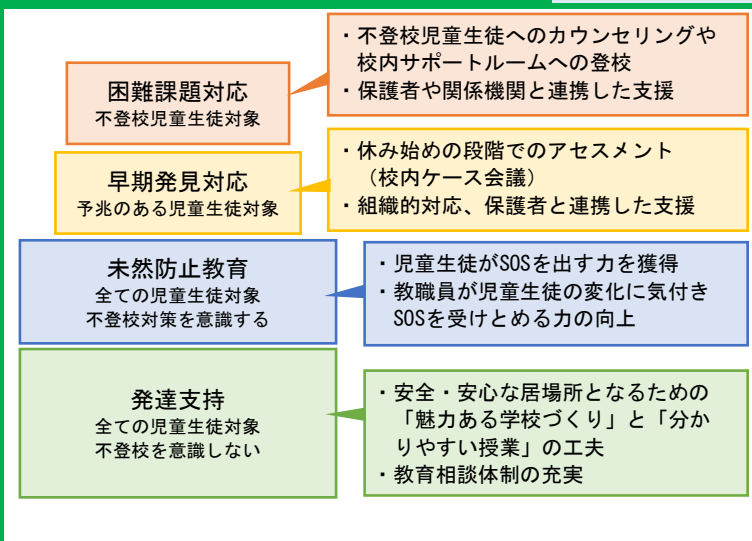
県内において不登校児童生徒数が増加傾向にある中、不登校対策では、対象や課題性に基づいた取組が求められています。全ての児童生徒を対象とした取組や不登校の予兆が見られる児童生徒への支援、欠席が継続している児童生徒への支援を組織的かつ計画的に行うことが必要です。本校では、実態を把握し、以下の目標や取組を設定し、教職員が一丸となり対策を進めることで、誰一人取り残すことのない、持続可能な不登校対策や支援を行います。

不登校対策の目標

- 1 不登校・不登校傾向の児童を受け入れる多様な環境づくりと組織的な働きかけ。
- 2 スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、不登校児童生徒支援員との協働体制による支援。
- 3 安心・安全な居場所づくりと児童一人一人に寄り添ったサポート体制の確立。

不登校対策における重層的支援構造

参考：生徒指導提要R4.12



不登校対策チーム構成

校長・教頭・主幹教諭・生活指導担当・養護教諭・スクールカウンセラー（SC）・スクールソーシャルワーカー（SSW）・不登校児童生徒支援員・担任等

不登校児童生徒支援関係機関等

青少年育成センター・市教育支援センター「さつき学級」、市サポートチーム（相談員、SSW）、学校問題サポートチーム（播磨西教育事務所）、子ども食堂

4つの層での取組 等

発達支持

- ・児童理解をもとにした居場所づくり
- ・互いを認め合い支えあえる人間関係づくり
- ・アンケートツールの活用

未然防止教育

- ・社会的スキルの習得をめざす工夫（ガイダンス・SST）
- ・全ての児童が活躍できる場面づくり

早期発見対応

- ・児童アンケート（年3回）、保護者アンケート、アンケートツールの活用
- ・行動観察と情報共有、児童との対話による早期発見

困難課題対応

- ・保健室、パワーアップ教室と連携した「さわやかルーム」の運営
- ・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、不登校児童生徒支援員と連携した相談・支援体制の確立